

# QBオンラインとアプリ版イヤート ノートで、勉強のハードルを下げる!

J大学 S・Sさん

## 実習中の国試対策は「QB オンライン」で!

5年生になりたての頃、意識高めだった私は、実習中、診療科ごとに徹底的に国試対策をやろうと意気込んでいました。しかし実際にやってみると、参考書は読みきれず、『QB』も解く時間を確保できません。結果的には、診療科を終えても半端に読んだ参考書がボンヤリ頭に残った状態です。たとえば、循環器では、心筋梗塞は勉強していても、心筋炎や先天性心疾患などはざっぱり、といった状態で、大学の試験は徐々に点数が下がっていました。

まだ早い時期でしたが、こういう状態に少しずつ焦りを感じている最中、友人から「QB オンライン」の便利さを教えてもらいました。白衣のポケットに入るスマホやタブレットで国試の演習ができると聞いて、残りの『QB』を揃えて、「QB オンライン」を使ってみることにしました。

実際に使ってみると、本を取り出さずともサッと復習できる「QB オンライン」はとても使いやすく、勉強時間をとりにくいマイナー科を回っている間にも「QB オンライン」の問題を解き終わられるようになりました。本当に、早いうちから「QB オンライン」を使っていればよかった、と思います。

## イヤートとの連携で メジャー科の知識を広く深く

メジャー科にとりかかると、半端な知識が大きな壁となりました。ひとまず「QB オンライン」を少し解いてみ

ると、正答率は50%。自分の知識のなさに愕然とし、予備校のネット講座や『イヤート』でベースとなる知識のインプットが終わってから、「QB オンライン」で演習することにしました。

「QB オンライン」の演習も、メジャー科の臨床問題の場合は、疾患の想起が重要と考え、シャッフルして演習することで診断をつける練習に励みました。診断がついても、検査や治療が思い出せなかった場合には、すぐにアプリ版のイヤートを確認し、知識を再確認しました。



## アプリ版ならではの テンポよい学習

書籍版は通読には便利ですが、常に持ち歩いて読み返したり、参照頁をいちいち開くには手間がかかります。その点、アプリ版は、スマホやタブレットに入れて、いつでも持ち歩けますし、「QB オンライン」で気になった箇所へ1タッチでリンクするので、テンポよく演習できます。国試当日もすべて手元に置けることは精神的にも重宝しました。

また、私の場合、とくに「アトラス」へ参照リンクがある箇所でもならず画像を確認していました。文字だけの情報よりも記憶に残りやすいですし、画像問題対策としても非常に有効だったと思うので、今後の受験生の皆さんにもオススメです。

ちなみに、アプリ版では「レビューブックマイナー」や「同小児科」もあわせて横断的にキーワード検索ができることも地味にオススメです。

全体的に、参照ページを開く場合など、書籍ではついでに感じる動作がアプリではサッとできるため、結果的に同じ勉強時間でもテンポよく、より多くを学習することができると思います。

## 国試対策を、 手軽に、効率よく

実習に真面目に取り組むとなかなか自習時間がとれませんし、学生最後の一年は部活や趣味にも十分時間を使いたい!という人も多いと思います。私も含め、そういう受験生には、国試対策をいかに手軽に、効率よくやるかが重要です。

書籍を開く時間がとれず、国試対策に不安を感じている方は、ぜひ「QB オンライン」やアプリ版「イヤernote」を導入してみてください。勉強へのハードルが一気に下がると思います!

